

平成20年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立金沢二水高等学校

学校長 加藤 茂 芳

1 教育目標

適性の発見と進路の確立

創造的能力の啓培

健康・明朗にして、人間性豊かな品格の陶冶

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

本校は、「自由・闊達・明朗・真摯・清新」の校風を持つ伝統ある進学校である。卒業生は2万人を超え、政財界や学問・芸術分野など国の内外で幅広く活躍している。

本校は、平成15年度から「いしかわスーパーハイスクール」の指定を受け、質の高い学習内容を提供して、学ぶ意欲を一層喚起し、高い志を持って国際社会においてリーダーとして貢献できる人材を育成するよう努めてきた。二期目の最終年度を迎え、目標の達成に向けて努力を継続しているところである。

本校生徒は基本的な能力が高く、学習活動にしっかり取り組むことができるが、持てる力を十分発揮するためには家庭学習時間をさらに増加させる必要がある。

本校生徒は、チャレンジ精神を持ち、進路実現に向けて努力を継続していくという面では、意識をさらに高めていく必要がある。

職員の校務運営や教科指導・生徒指導において、より一層の改善と連携が必要である。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

広い視野を持ち、自ら考え、行動する生徒を育成する。

高い志と知力を備え、国際社会においてリーダーとして活躍できる生徒を育成する。

文武両道をめざし、たくましく生きる生徒を育成する。

(3) 教職員、学校組織の望ましい在り方

生徒への限りない愛情、教育に対する使命感と情熱を持つ。

専門職としての知識と教育技術を高め、絶えず自己研鑽に努める。

校務に対して達成すべき目標を掲げ、常に改善・向上をはかる意識を持ち、一丸となって学校運営にあたる。

3 今年度の重点目標

生徒の学力をより一層高めるために教科指導の質的向上に努めるとともに、あらゆる学習活動を通して論理的思考力や表現力の伸張を図る。

生徒が高い進路目標を持ち、目標に向かって邁進していくことのできる進路指導体制の確立をはかる。

健康の促進と体力の向上を図りながら、学習時間を確立し、品位ある言動ができる自己管理能力を育成する。